

平成28年度 事業報告書

平成28年度 事業報告書

平成28年度は、平成25年度に策定した「昭和区社会福祉協議会第3次地域福祉活動計画」(以下「第3次活動計画」という。)(計画期間:平成26年度から30年度)の3年目の年度として、平成28年度事業計画に基づき、地域住民の皆さまの参加・協力及び関係諸機関・団体等との連携のもと以下の様々な事業を実施し、昭和区の地域福祉の推進に取り組みました。

平成28年度の重点・新たな取り組みの実施結果

① 【ささえあいの風土づくり、ネットワークづくり】

各学区社会福祉協議会(福祉推進協議会)との連携及び支援、福祉教育の推進、昭和区ボランティア連絡協議会との連携及び活動支援、昭和区ボランティアセンターの運営及び生活福祉資金貸付事業による生活困窮者に対する支援等により、地域住民とともに「誰もが誰かの力になれる」住みよい福祉のまちづくりに取り組みました。

平成27年度に取りまとめた「学区社会福祉協議会のあり方についての提言書」をもとに、学区社会福祉協議会に向けて、ふれあいネットワーク活動、地域ささえあい事業、ふれあい・いきいきサロン活動の実施を勧奨し、新たに1学区でふれあいネットワーク活動が開始しました。

名古屋市からの受託事業である「高齢者はつらつ長寿推進事業」については、区内8会場において、ボランティアの協力を得て、健康増進活動やレクリエーション活動等を通じて仲間づくり、介護予防を進めました。参加者の自主的な活動を支援し、新たに3か所で、サロン等の活動が始まりました。

同様に名古屋市からの受託事業である「高齢者サロンの整備等生活支援推進事業」では、孤立しがちな高齢者が気軽に集まり、地域住民とともに楽しく過ごす集いの場の開設支援を11か所で行いました。

同様に、名古屋市からの受託事業である「地域ささえあい事業」については、新たに1学区で事業が開始し、6学区での実施となりました。また、地域支えあい事業のボランティア養成講座(地域支えあい応援団養成講座)を新たに行い、住民一人ひとりの個別の生活の困りごとの解決に向けた住民主体の見守りや支えあいの活動を支援しました。

② 【総合支援型社協の推進】

本会では、学区社会福祉協議会の支援やボランティアセンターの運営以外にも、白金児童館、八事福祉会館の指定管理業務、介護保険事業や、いきいき支援センターへの協力などさまざまな事業を実施しており、多様な専門職が在籍し、日々、一

人ひとりの利用者の自立にむけた支援を行っています。それぞれの職種の専門性を活かしながら、職員が一体となって「個と地域の一体的支援」に取り組みました。

昭和区西部いきいき支援センターとともに取り組んでいる住民主体の介護予防サロンの開設支援は、それぞれの強みを活かし、平成28年度には3か所目が開設しました。

白金児童館では、平成27年度より「NPO 法人わが家流子育て応援団ふりあん」（以下、「ふりあん」）とともにコンソーシアム（共同事業体）を構成して運営し、行事や講座を充実しました。また、「ふりあん」の活動拠点を活用した移動児童館を新たに実施し、お互いの強みを活かし、昭和区の子ども・子育ての拠点として、子どもの育つ力、子育て力の向上を図りました。

また、八事福祉会館では、名古屋市からの受託事業である「わくわく通所事業」が「認知症予防事業」に再編され、いきいき支援センター及び関係機関等と連携して、新たに「認知症予防普及・啓発リーダー養成講座」や「認知症予防教室」を実施し、認知症予防のための知識や活動の普及啓発を行いました。

③ 【第3次地域福祉活動計画の推進】

本会では、平成25年度に「誰もが誰かの力になれる地域づくり」をスローガンに、第3次地域福祉活動計画を策定し、地域住民、関係機関、行政のみなさんとの協働によって事業を進めてきました。平成28年度は計画期間の中間年となるため、中間評価委員会を設置して、これまでの活動を振り返るとともに、実施事業の見直しを行い、評価報告書を取りまとめました。

主な事業・活動

1 学区社会福祉協議会の支援

個別事業計画	活動・事業の概要	今年度の実績
【新規】 学区社会福祉協議会(福祉推進協議会)の活動支援	平成27年度策定された「学区社会福祉協議会あり方検討会提言書」に基づき、各学区における地域福祉活動の実施主体である学区社会福祉協議会を支援する。	学区社協連絡会 平成28年10月27日 学区社協研修会 平成29年3月21日
高齢者ふれあい給食サービスの活動支援	給食会や配食サービスの実施を通じ、福祉に関する情報提供及び学区関係者との関係づくり、さらに困りごとなどのニーズギャッチにつなげる。	10団体で実施 延5,461人

2 地域福祉活動の推進

個別事業計画	活動・事業の概要	今年度の実績
ふくし教育・担い手づくり		
学校での福祉教育の実施	総合的な学習の時間や道徳の授業などに、福祉に関するプログラムの提案やコーディネートを行う。	23回 延1,954人
福祉教育セミナーの開催	学校の教員を主な対象に、事例報告や情報共有の研修会を開催し、福祉教育の意義や効果を伝える。	福祉教育セミナー 1回 13人
学校との顔の見える関係づくり	学校に定期的に訪問し、福祉教育の情報収集・発信を行い、福祉教育に関するネットワークを広げる。	学区社協研修会等 2回 延63人 いりよととかいごの親子探検隊 2回 延38人
ふくし講座の開催	学区社会福祉協議会や各種団体の支援・協力のもと、地域の様々な人たちとお互いに福祉を学びあう機会として、「ふくし講座」を開催する。	
手話教室の開催	手話教室を開催し、手話ボランティアを養成する。	1回(10回講座) 25人

個別事業計画	活動・事業の概要	今年度の実績
情報発信		
広報誌(こころんネット)発行	区民に福祉や本会の事業に関心を持ってもらうために、よりわかりやすく情報を伝えられるよう紙面の充実を図る。	3回 延22,000部発行
ホームページの運営	ホームページを運営し、タイムリーな情報発信に努める。携帯電話版の「もばいこころん」を運営し、より身近に情報に接してもらえよう、努める。	ホームページ 57回更新 延8,566人閲覧 もばいこころん 35回更新 延1,814人閲覧
【新規】区内行事への参加	区内で行われている各種行事に参加して、区社協をPRする。今年度は、新たに、文化小劇場のオープンイベントに参加し、区社協のPRを行う。	区民まつり、八事の森の春祭り、昭和区成人式など6回
障害のある人への情報提供	ボランティアによる「広報なごや」や「こころんネット」の音訳版、点訳版を作成する。	音訳テープ発送 延81件 点訳版発送 延508件
子育て見本市の開催	子育て家庭を支援するための子ども・子育ての情報発信のイベントを実施する。	あそびの広場 450人 (うち、ボランティア100人) 平成28年9月11日
子育てカレンダーの作成	子育てネットワークの拡大を目指し、子育て情報を掲載したカレンダーを作成・配布する。	6回 1,200部発行
防災イベント・防災カフェの実施	防災・減災の普及啓発のため、防災イベント、防災カフェを実施する。	防災イベント 2回 69人参加 防災カフェ 11回 294人参加
各種団体助成・支援		
各種団体の活動支援	共同募金や賛助会費を財源として、各種団体等(児童関係団体、ボランティア団体、心身障害児者団体、低所得世帯)への助成、支援を行う。	25団体 総額6,450,579円

個別事業計画	活動・事業の概要	今年度の実績
在宅サービスセンターの管理運営	研修室やボランティアルームなどの貸出を行い、区民の地域福祉活動の推進を図る。	利用団体 延1,257団体 利用者数 延17,996人 稼働率 80%
その他	名古屋社会福祉協議会が市内の社会福祉法人との協働により進める「なごや・よりどころサポート事業」に参加する。 名古屋市内在住の65歳以上の方を対象に、健康体操やレクリエーションなどの活動を通じて介護予防への理解を促し、自主活動や地域活動等への参加促進を図ることを目的に、週4日、昭和区内8会場を巡回して実施する。 参加者への情報提供やプログラム内容の工夫により、自主活動や地域活動へのつながり、住民の交流の機会づくりを支援する。 保健所やいきいき支援センターなども連携を図り、参加者や地域の福祉ニーズに気づき、解決に結びつけられるようする。	通年実施 実施日数 380回 (1日2会場実施) 参加者数 延6,996人 ボランティア数 延730人
地域力再生による生活支援推進事業(地域支えあい事業)(市受託事業)の実施	地域住民が抱えているちよつとした困りごとを住民相互で助け合う仕組みづくりを推進する。既に事業が行われている学区(滝川、川原、松栄、御器所、白金)については、地域支えあい連絡会の開催支援や地域住民から選ばれた相談窓口の相談員(ご近所ボランティアコーディネーター)への支援を行う。また、未実施学区への事業実施への働きかけを行う。	6学区で実施 (新規1学区(村雲学区)) 連絡会 8回 研修会 2回 相談件数 延69件
高齢者サロン等整備推進事業の実施(市受託事業)	<ul style="list-style-type: none"> ○たまり場の開設支援 ・たまり場の実践者や世話人のノウハウを生かしていく。 ・たまり場の情報提供を行う。 ・たまり場の開設、運営支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ○たまり場交流会の開催 ・たまり場の世話人の交流会、研修会 	開設助成 11団体 運営助成 上半期16団体 下半期19団体 交流会 2回

個別事業計画	活動・事業の概要	今年度の実績
高齢者サロン等整備推進事業の実施 (市受託事業)	○たまり場通信の発刊 ・たまり場通信の発刊を継続的に行う。 ・配布対象を検討する。 生活支援サービスの基盤整備とネットワークの構築をめざし、地域課題検討作業部会を開催する。部会では、サロン活動や介護予防の取り組みへの支援と実態把握や、住民同士の助け合い、支え合いによる問題を解決するしくみづくりの支援にも取り組む。	たまり場通信 3回 3,782部発行
生活福祉資金貸付事業の実施 (県社協事業)	相談や資金貸付を通じて、民生委員児童委員とともに、低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯等の自立を支援します。	相談件数 115件 新規貸付 3件(244,000円) 貸付中 43件(63,783,637円)
【新規】生活困窮者に対する食糧支援の実施	総合相談支援を通じて、困窮状態にあり、食料支援が必要であると判断する相談者があった場合に、セカンドハーベスト名古屋に依頼し、2～3週間程度分の食料を提供する。	通年実施
福祉まつりの開催支援	実行委員会と協力し、第34回昭和区の福祉まつりの開催を支援する。開催を通して区民の福祉問題への関心を高め、福祉意識の向上を図る。	シンポジウム 165名 平成28年6月26日 前日祭180名 平成28年8月20日 本祭り 1,300名 平成28年8月21日

3 ボランティア・市民活動の振興

個別事業計画	活動・事業の概要	今年度の実績
ボランティアセンター		
ボランティア情報の収集発信	ボランティア情報スペースや掲示板の設置、登録ボランティアへの情報発信などを行う。	通年実施

個別事業計画	活動・事業の概要	今年度の実績
ボランティアコーディネートの実施	区社協ボランティアセンターの広報に努め、ボランティアのコーディネートを行う。また、地域の人材発掘に努め、ボランティアコーディネート機能の向上を図る。	登録数 158団体(5,271名) 個人登録者 156名 相談 120件 コーディネート 111件
【新規】 地域支えあい応援団(仮称)の 養成(担い手養成講座)	地域支えあい事業の未実施学区における、日常生活上の ちよつとした困りごとの解決にむけ、ボランティアの養成と組 織化を行う。	3日間 延53名 5名登録
ボランティア団体の支援		
昭和区ボランティア連絡協議会 の活動支援	ボランティア連絡協議会への加入促進・PRや、学区社会福 祉協議会などの地域団体・住民へのPRを行う。	総会1回 交流会2回 研修会2回 市民向け講座 5回 広報誌3回 延1,500部
おもちゃライブラリーポップ の活動支援	障がい児の参加呼びかけや、団体・施設への利用PRなど を行います。また、新しいボランティアの拡大を図る。	月1回(第3土曜日) 延984人 ボランティア 延137人 おもちゃの貸出 延1,051点
子育て&子育てにこここそサロン の活動支援	NPO法人と協働で「子育て&子育てにこここそサロン」を実施 し、安心して子育てのできる環境づくりに取り組む。	月2回(第1・第3火曜日) 延143組327人
家具固定ボラ昭和 の活動支援	ひとり暮らし高齢者等、自身で家具転倒防止器具の取付が 困難な家庭へボランティアを派遣し、家具転倒防止器具を取 り付け、防災・減災意識の普及啓発を進める。	連絡会3回 家具固定防止金具取付11件

個別事業計画		活動・事業の概要	今年度の実績
災害ボランティアセンター	災害ボランティアセンター 設置運営訓練の実施	「大規模災害時における昭和区災害ボランティアセンター開設に係る支援協力に関する協定書」に基づき、ボランティア、区内公所(署)職員等を対象に、昭和区ボランティア連絡協議会、なごや防災ボランティアネットワーク昭和の協力を得て、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施する。	1回 延124人 平成28年9月16日

4 総合支援型社協の推進

個別事業計画		活動・事業の概要	今年度の実績
職員の資質(専門性)の向上と連携力の強化	職員の資質(専門性)の向上と連携力の強化	総合支援型社協の実現をめざし、事務局内の「事務局プロジェクトチーム」において、協議、実践する。	多職種連携による取り組み 研究会 交流の場づくり 昔語り 企業訪問 街頭募金 等
【新規】 通所介護事業の実施	【新規】 通所介護事業の実施	要支援・要介護高齢者を自宅から送迎し、デイサービスセンターにおいて、機能訓練や入浴、レクリエーションなどを通じて、要介護状態の改善を目指す。平成28年6月から始まる「新しい総合事業」で利用対象となる方の受け入れについても行う。	実施日数 308日 延利用者数 8,475人 1日あたり平均利用者数 27.5人
昭和区介護保険事業所(市社協事業)への協力			
居宅介護支援事業の実施	居宅介護支援事業の実施	要支援・要介護高齢者のケアプラン作成や要介護認定の申請代行などを行い、一人ひとりのニーズに合った支援を行う。	延居宅サービス計画(介護予防サービス計画を含む)作成件数 延3,147件

個別事業計画	活動・事業の概要	今年度の実績
訪問介護事業の実施	要支援・要介護高齢者や障がい者などを対象にホームヘルパーが家庭を訪問し、一人ひとりの自立を支援しながら日常生活上の援助を行う。	利用者数 延4,438人 (うち、訪問介護・介護予防訪問介護 延2,845人 うち、障害者自立支援制度における居宅介護事業等 延1,593人) ヘルパー登録人数108人
昭和区西部いきいき支援センター(市社協受託事業)への協力		
地域支援事業の実施	高齢者やその家族に関する総合的な相談・支援を実施する。高齢者虐待や権利擁護に関する相談を実施する。	相談件数 延3,393件
介護予防ケアマネジメント事業の実施	介護予防事業や予防給付を適切に利用するためのケアマネジメントを実施する。総合事業へのスムーズな移行や地域住民への周知を実施する。	予防給付ケアマネジメント 延1,773件 介護予防事業利用者数 延5,770人
認知症家族支援事業の実施	認知症家族教室、認知症家族サロン、もの忘れ相談医の専門相談を実施する。	家族教室 10回 延18人 家族サロン 12回 延43人 もの忘れ相談12回 延19人 認知症サポーター養成講座 20回 延327人
【新規】認知症初期集中支援チームの設置	認知症になっても安心して生活ができる地域を実現するため、認知症の方等を訪問し、初期の支援を包括的、集中的に実施する。	支援件数20件
見守り支援事業の実施	見守り支援に関する個別ケースの対応や電話による見守り活動を実施する。	延200件 いきいきコール 延1,036回

個別事業計画		活動・事業の概要		今年度の実績	
八事福祉会館の管理運営					
福祉増進事業の実施	趣味の講座や健康教室等を開催するとともに、レクリエーション活動や同好会活動を支援する。 また、「懐かし映画会」、「ミニシアター」、「音楽会」等の実施及び健康や生活に関する相談事業を行う。 さらに、囲碁将棋室、集会所、浴室、浴室等を無料で提供する。	健康相談 月1回 電話相談 週2回 懐かし映画会 5回 ミニシアター 5回 音楽会 3回 特別講座 7回			
【新規】 認知症予防教室等の実施	いきいき支援センター及び関係機関等と連携しながら、高齢者やその支援者を対象に介護予防・認知症予防プログラムを提供する。	132回 延1,100人			
各種行事の実施	「福祉会館まつり」、「新春餅つき大会」、「輪投げ大会」、「囲碁大会」などを開催し、多くの利用者が参加し楽しむ機会を創出する。	福祉会館まつり 2日 延590人 新春餅つき大会 1日 延60人 輪投げ大会 2日 延84人 囲碁大会 3回 延183人			
回想法教室の実施	認知症予防のための「回想法教室」をはつらつクラブや地域のサロンなどで開催する。	1回 延15人			

個別事業計画	活動・事業の概要	今年度の実績
<p>白金児童館の管理運営(ころん・ふりあんコンソーシアム)</p> <p>【新規】 子ども育成活動の実施</p>	<p>支援の必要な子どもたちが安心・安全に過ごせる遊び場①を提供する。</p> <p>各種行事②、クラブ③の実施を通して、子どもたちの健全育成を図る。今年度は、年長児、小学校低学年児童を対象に「はじめてのバレエ」を新たに実施する。また、「児童館子ども運営委員会」④を設置し、子どもたちが企画運営に参加して、「こどものまち・しらかね」、「クリスマス会」、「児童館まつり」を実施する。</p> <p>また、中学生・高校生を対象とした「白金青春塾」を新たに「しらかねナイト」⑤にリニューアルし、利用時間の延長のほか、携帯アプリの「LINE」を活用したPRに新たに取り組む。引き続き、中学生向けに、学習サポート事業⑥を実施する。</p>	<p>①利用者数 延48,943人</p> <p>②行事 75回 延2,320人 (うち、こどものまちしらかね 延221人)</p> <p>③クラブ 78回 延1,012人</p> <p>④子ども運営委員会 20回</p> <p>⑤しらかねナイト 48回 延259人</p> <p>⑥学習サポート事業 52回 延414人</p>
<p>【新規】 子育て支援活動の実施</p>	<p>「赤ちやんと二人だけの外出デビュー」は児童館」を目指す。「まあまサロン」を専用の部屋として常時開放し、新たに、専任のスタッフを配置して常時支援できる体制をとる。シアターデビューなどの各種行事①や「リトミック」「おやこたいそう」といったクラブ活動②、親支援プログラムをはじめとする各種講座③の実施を通して、子育て家庭の交流を目指す。今年度は、新たに、親支援プログラムとして「ノーバディパーフェクト」を名古屋市子ども・子育て支援センターと共催で実施し、「リトミック」の対象年齢を1歳からに拡大する。さらに、2歳以上の子どもと保護者を対象に「親子でアーティスト」を新たに実施する。</p>	<p>①行事 93回 延1,869人</p> <p>②クラブ 126回 延5,154人</p> <p>③子育て支援講座 17回 377人</p>
<p>【新規】 地域福祉促進活動の実施</p>	<p>地域の関係団体との連携作りをめざし、新たに、コンソーシアムの相手法人の活動拠点等を活用して移動児童館①を実施する。また、児童館周辺の方々への情報発信のため、新たに、屋外に掲示板を設置する</p> <p>大学や地域の方々と連携し、ハロウィンに高齢者宅への訪問活動などを行う「コミュカフェ」②を開催し、児童館の運営に意見をいただく「サービスイノベーション委員会」③を開催する。</p>	<p>①移動児童館 20回 延512人</p> <p>②コミュカフェ 6回 延127人</p> <p>③サービスイノベーション委員会 3回 行事 12回 延1,601人 クラブ 36回 延594人</p>

個別事業計画	活動・事業の概要	今年度の実績
留守家庭児童クラブの実施	下校後に保護者が不在となる家庭の小学生を対象に、家庭的な雰囲気の中で健康で情操豊かに過ごせるよう留守家庭児童クラブ「どんぐりクラブ」を運営する。	293日 延5,891人

5 第3次地域福祉活動計画の実行

個別事業計画	活動・事業の概要	今年度の実績
<p>【新規】 中間評価の実施 推進プロジェクトチームによる 事業推進</p>	<p>評価委員会を設置し、第3次活動計画の中間評価を行い、必要に応じて、計画の修正、実施事業の見直しを行う。プロジェクトチームによる事業推進についても同様とする。</p>	<p>中間評価委員会 平成28年6月16日 平成28年12月15日 平成29年3月15日 懇談会 平成29年2月15日</p>
<p>こころん支えあいネットの構築</p>	<p>ご近所同士のつながりや支えあいと、学区社会福祉協議会や専門職が連携し合うことで制度やサービスでは補えないことを支えあい、誰もが地域の中で孤立することなく安心して暮らせるよう、「こころん支えあいネット」の構築をめざす。学区社会福祉協議会を通じて、「ふれあいネット」の構築をめぐり「ふれあいネット」や、「助け合いの仕組みづくり」に取り組んでいる学区については、それらの活動で把握された災害時要援護者からこころん支えあいネットに広げていく。</p>	<p>ふれあいネットワーク活動実施3学区(滝川学区、御器所学区、松栄学区) 64世帯</p>

個別事業計画	活動・事業の概要	今年度の実績
健康・医療・福祉との連携	保健・医療・福祉などの専門職によって構成される「セーフティネット委員会」により、保健・医療・福祉のセーフティネットの構築と推進に向けた様々な取り組みを行っていきます。また、在宅医療・介護連携会議へ参画し、連携を強化する。	地域課題検討作業部会 2回 在宅医療介護連携会議 2回 セーフティネット委員会懇談会 3回

6 その他

個別事業計画	活動・事業の概要	今年度の実績
各種連絡組織への参加	<p>昭和区内の各連絡組織が、それぞれの分野を超えて連携し、ネットワークを形成していくことをめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①昭和区地域包括ケア推進会議 ②昭和区自立支援協議会 ③昭和区子育て支援ネットワーク連絡会 ④昭和区介護保険関連事業者連絡会 ⑤昭和区在宅医療・介護連携会議 	<ul style="list-style-type: none"> ①4回 ②1回 ③2回 ④4回 ⑤2回
自主財源の確保	<p>賛助会員の募集を行い、引き続き、区社協の自主財源の確保に努める。また、区内の社会福祉事業の財源となる「赤い羽根共同募金」の事務局として募金活動を支援する。</p>	<p>賛助会員 個人:1,044件 法人:122件 賛助会費:3,439,000円</p> <p>赤い羽根共同募金 目標:9,012,000円 実績:8,386,990円 目標達成率:93.1%</p> <p>赤い羽根チャリティ展覧会 展示作品:437点 寄付金額:309,710円</p> <p>歳末たすけあい募金 目標:181,000円 実績:233,548円 目標達成率:129.0%</p>